

## 留学報告書 ～留学で得たもの～

ノースカロライナ大学ウィルミントン校  
国際文化学部生（中期）

私は8月19日から12月15日までノースカロライナ州にある、ノースカロライナ大学ウィルミントン校 (UNCW) へ中期留学に行きました。私はそこに ESL (English as a Second Language) の学生として通いました。TOEFL の点数が不足し、長期留学に行くことができず、最初はがっかりしていたのですがいざ UNCW で勉強してみても英語力が上がったことが自分でもわかるくらい上がったのでこの中期留学に行くことができ本当に良かったと思います。

UNCW に来た当時は少しがっかりしたことがありました。それは日本人が多かったことです。もちろん来る前はそれについては知るはずもないので、外国人ばかりなのだろうなと思っていましたがそうではありませんでした。日本人が最初は約半分を占めるくらいの割合だったのでこの留学生活はうまくいくのだろうかと不安に思っていました。ですが、ほとんどの日本人は意識の高い学生ばかりで、すごく楽しく英語に触れあいながら過ごすことができました。夏休みが終わるころ、大阪教育大学から来ていた学生たちやほかの外国人の学生も帰ってしまうということもあり少し悲しいところもありましたが、英語を使う機会が増え、新しい学生が入ってきたこともあり良かったです。

僕はレベル1～4の授業難易度の中でレベル3のクラスを、最初に受けたテストの結果に伴い持つことになったのですが、レベル3の授業に一番多くの日本人がいたため、レベル4に上げさせてもらうことを先生たちに申し出ました。僕は最初、これをするのは他の日本人からしたら嫌味のように思われるのではないかと思い、一度交渉することをやめようかと思いましたが、自分の英語力を上げるために交渉することを決めました。交渉したところ、僕はリーディングのクラスだけレベル4の授業を受けさせてもらえることになりました。何もしないよりとても良かったと今でも思っています。

それぞれの ESL の学生にはカンパセーションパートナーがおり、私にはハンターという名前のカンパセーションパートナーがつけました。ハンターは以前、日本の大学に留学するほど日本が好きで外国人でとても親切にしてくれました。授業の終わった後にウィルミントンを案内してくれたり、一緒にご飯を食べに行ったりしました。私が日本に帰った後も連絡を取り合っており、来年の2月にまた日本に来るそうです。日本に来たときはぜひまた会って、日本語のカンパセーションパートナーとして次は私が日本をおもてなししたいです。

10月の半ばにフォールブレイクがあり、私は ESL の日本人の友達とフロリダに行きました。また、11月下旬から12月上旬にかけてサンクスギビングデイがあったのでニューヨークに同じメンバーと行ってきました。フロリダでは、ディズニーワールドとユニバーサルスタジオに行きました。まず私はディズニーに小さいときにしか行ったことがなくほとんど記憶がないので今回のディズニーが記憶に残るディズニーでした。今回の旅行は日本ではなくアメリカだったのでもちろん英語を使って、スピーキングの良い勉強になったと思います。ニューヨークではとくにサブウェイをつかうことが非常に多くどの電車に乗ればいいのか初めてニューヨークに来た私たちにはとても複雑で難しかったです。すごく良い経験になったと思います。またニューヨークでは NBA やブロードウェイを見たりしました。このような素晴らしいものを見る機会は日本ではないので本当にニューヨークに行ってきたと今でも思います。

ESL の授業は英語の授業だけで、Reading, Speaking&Listening, Writing, Project DevelopmentB, Conversation&Culture,そして Language Games/Current Events の授業がありました。その中で Project DevelopmentB の授業は週に3回あり主に文法を習いました。セクションごとにプレゼンテーションをする必要があり緊張しましたがやっていくごとに

慣れていきました。プレゼンテーションをやっていく中で、本当に自分が何を言うのかとパワーポイントが大切になってくるなと思いました。また日本ではエッセイを書くことは多いですが、アメリカでは自分の意見を発信することが多いのだと思いました。この点ではアメリカ式の方が就職活動の面接などで役に立つと思いました。Reading, Listening&Speaking, そして Reading の授業は週に 5 回、つまり毎日あり、Reading の授業ではとくにグループワークが多かったです。物語文を読むことが多かったのですが、問題を解くときにグループワークで、ほかの生徒の答えはこれでこうだから正解はこれ、というように生徒間で答えを導き出しました。先生はどの生徒も分からない、不安であるような場合に解説をしていました。すぐに先生の解説を聞くより、生徒が解説し、より理解を深めるためなのだと思います。やはり私は日本よりこちらの形式の方が楽しく、生徒のためにもなると感じました。Listening&Speaking の授業では授業名の通り、Listening と Speaking をしました。Writing の授業では何個ものエッセイを書き、疲れましたが確実文章を書く能力が上達したと思います。Conversation&Culture の授業ではウィルミントンの水族館などに行き、それについてグループでプレゼンテーションをしました。そして、Language Games/Current Events の授業ではアメリカで流行っているゲーム (Kahoot やボードゲーム) をしたり、またゲスト (警察官や美術、歴史の先生など) を呼び、話を聞いたりしました。どの授業も身になるような授業ばかりで本当に ESL の生徒として UNCW にきて良かったと思っています。

中期の間だけで少し物足りないところもありますが、UNCW に行き、とても良い仲間が作れ、英語もとても上達させることができとても満足しています。留学中が本番ではなく帰ってきてからどういう行動を起こすかでこの留学で身についた英語が上達するのかそれとも悪くなるのかが決まるので、毎日必ず英語にどんな形でもよいので触れていきたいです。例えば、TOEFL や TOEIC の勉強をしたり、Listening を電車に乗っている間にしたり、大学で外国人と話したりとたくさんの英語力維持、向上方法があるので必ずしていきたいです。私にとってこの留学は一生忘れられないもので、就職活動にも必ず役に立つのでこの留学を活かして頑張りたいと思います。また、まだこのいまの自分の英語力は仕事で十分に発揮させることはできないので、仕事で何事も問題を起ささないような英語力を身につけることができるよう日々精進していきたいです。